資料4

今後のスケジュールについて

平成25年9月 尾張旭市都市整備部都市計画課

本市の市営バスの道のり

尾張旭市交通問題対策協議会からの提言

- ■公共交通のサービス水準が相対的に低い地域に「歩ける元気なお年寄り」を対象として、市による新たな交通手段の確保を図る。
- ■平成16年12月 9人乗りワゴン車3台により試験運行を開始 既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「交通空白地」と 定義し、その解消を目指す。
- ■平成18年 8月 3ルートから4ルートに拡充

■平成20年 4月 指定管理者による本格運行開始

尾張旭市交通基本計画

(平成25年7月1日策定)

目指すべき都市像

「誰もが円滑に移動できる 笑顔あふれる 住みよいまち」

基本理念

- ・ 誰もが利用しやすい交通体系を構築します
- ・安全・安心かつ円滑な交通体系を構築します
- 持続可能なまちづくりにつながる交通体系を構築します

基本方針

- 1 公共交通の利便性の向上や交通結節機能の強化を推進します
- 2 適切に機能分担された快適な道路整備を推進します
- 3 人と環境にやさしい交通施策を推進します



本計画において、市営バス「あさぴ一号」を地域の生活交通路線である「地域路線」として位置付け。

新たな交通環境の変化

バリアフリー 法の強化 ` 超高齢社会に おける公共交 通の重要性

環境重視の 生活スタイル への転換 既存の課題の 見直し

- 運行本数増便
- 日祝日運行
- 朝夕時間帯運行

公共交通への転換促進が求められる。



次期総合計画において、 市営バス「あさぴ一号」を、 より充実させていく

スケジュール

年度	検討事項
H 2 5	■定時性の確保(渋滞解消対策) ※H26以降も継続
H 2 6	■新たな交通環境の変化等への対応
H 2 7	★評価・検証(評価指標、評価基準の設定) ■既存車両の更新 ■評価を踏まえた見直し(ダイヤ、バス停等)
H 2 8	★評価・検証 ■評価を踏まえた見直し(ダイヤ、バス停等)